学校番号	３０４

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭基礎　気づく力　築く未来　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心を持ち、自立するために積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な課題をアクティブラーニング等を通して考え理解を深め知識を身につけます。多様な考え方を学び自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の課題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともにそれらにかかわる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・生活の中から問題を見つけ、課題を設定し解決策を実践考察するなど生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・様々な人々と協働し地域社会に参画しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識を理解しているとともにそれらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を考え実践する。実践を評価･改善し考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	自分や家庭､地域の生活に興味関心を持ち､課題の解決に主体的に取り組んだり､振り返って改善しようとしている｡様々な人々と協働し､よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	これからの人生について考えてみよう	・ホームプロジェクト ・生涯発達と発達課題 ・これからの人生をデザインする	a:自分や人の一生、現在の社会状況を理解し必要な知識を身につけている。 b:ライフステージの特徴と課題について知り社会状況を考えながら自分の生活や将来について考察し論理的に表現することができる。 c:現在の自分のことや将来の生活設計に興味関心を持ち課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 発表
	自分らしい生き方と家族	・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律	a:自立や男女の平等と相互の協力、労働の意義と労働環境、家族・家庭の多様化や家族に関する法律について理解し必要な知識を身につけている。 b:家族・家庭と社会との関わりについての課題や問題について考察し論理的に表現することができる。 c:現在の社会の状況、労働の意義や役割、家族・家庭の役割やそれらに関する法律に興味関心を持ち課題を見い出そうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 発表
	高齢者とかかわる	・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢者の自立を支える ・高齢社会を支えるしくみ	a:高齢社会の現状や生活、心身の特徴について、高齢期を支える社会的な制度について理解し必要な知識を身につけている。 b:高齢社会の課題やその解決に向けて考察し論理的に表現することができる。 c:高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴、生活について興味関心を持ち高齢者とかかわろうとし課題を見い出そうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート グループワーク 発表

	住生活をつくる	・人間と住まい ・住まいの文化 ・住まいを計画する ・健康に配慮した室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり	a:住まいの役割、機能、健康的な住まい環境や住まいの安全対策について理解し必要な知識を身につけている。 b:ライフスタイルやライフステージに応じた住まいや住空間の設計、住環境、安全な住まいづくりについて考察し論理的に表現することができる。 c:住空間の計画や住環境について興味関心を持ち、快適な住まいづくりに向けて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 住宅設計 定期考査	学習状況の観察 ワークシート 住宅設計 グループワーク 発表
2学期	衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる ・衣服の構造、デザイン	a:衣服の素材の種類や特徴、衣服材料の性能と特徴、衣服整理について理解し必要な知識を身につけている。基礎縫い等の縫製技能を身につけている。 b:衣服の用途によって適切な衣服素材を考え判断することができる。実生活での衣服管理において適切な判断ができる。現代の衣生活を取り巻く状況について考察し論理的に表現することができる。 c:衣生活を取り巻く状況について興味関心を持ち課題の解決に主体的に取り組もうとしている。基礎縫いの実習において積極的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 被服実習 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート 被服実習 グループワーク 発表
	食生活をつくる	・日本の食文化の形成 ・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える	a:日本の食文化、食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境、栄養・食品に関する科学的な知識を身につけている。調理技術を身につけそれを生活に生かすことができる。 b:現在の食生活の課題解決について思考し、食品の特性と調理との関係において科学的な思考を身につけ実際の食事作りに向けての判断ができる。 c:自分や家族の食生活に興味関心を持ち課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 調理実習 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート 調理実習 グループワーク 発表

2学期	子どもとかかわる	・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉	a:子どもの心身の発達や生活、子どもを取り巻く人との関わり、子どもの福祉について理解し必要な知識を身につけている。 b:子どもを取り巻く状況や子育ての環境についての課題を考察し解決への考えを論理的に表現することができる。 c:子どもの世界や発達の様子、子どもを取り巻く状況について興味関心を持ち課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート グループワーク 発表
3学期	消費行動を考える	・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと環境	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性につて、消費者の権利と責任、家庭生活と資源・環境との関係について理解し必要な知識を身につけている。 b:多様化する販売方法や支払い方法、消費行動と環境との関わりについて問題点や課題を考察し解決策を考え判断することができる。 c:自分が消費者であることを自覚し消費者をめぐる様々な課題に興味関心を持ち課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート グループワーク 発表
	経済的に自立する	・暮らしと経済 ・将来のライフプランニング	a:家庭経済、国民経済等の仕組みについて理解し必要な知識を身につけている。 b:家庭の収入支出、預金等について適切な考えを持ち判断することができる。将来のライフイベントとその費用を考え論理的に表現することができる。 c:自分の経済的自立を考えながら経済の仕組みや家計の特徴について興味関心を持ち、短期長期の経済計画について主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ワークシート レポート グループワーク 定期考査	学習状況の観察 ワークシート グループワーク 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度